

グリーン・あい

一般財団法人 富田林市公園緑化協会 TEL 0721-25-1000 FAX 0721-25-4110
ホームページ <https://tonabayashi-park.or.jp>



- ・花を楽しもう……………スカビオサ
- ・樹木医相談……………サツキの葉が白くなる
- ・草木でオモチャ作り……竹灯籠

- ・公園のりっぱな木を発見…藤沢台3号公園
- ・my little garden story
- ・お知らせ



花を楽しもう (35)

スカビオサ (マツムシソウ)

学名 Scabiosa

マツムシソウ科 マツムシソウ属



花茎がスーと伸びた先にブルー系の花を咲かせ、風に揺られる姿はなんとも言えない風情があります。1個の花と見えますが小さな花の集合体です。

スカビオサは、切り花を生けてお部屋に飾っても、少し曲がっていたりする茎に表情が出るので、柔らかな雰囲気のアレンジができる楽しめる花材です。

スカビオサの仲間は80種以上もヨーロッパを中心にアジア、アフリカに分布しています。

日本にもマツムシソウ 1種があり、その変種としてタカネマツムシソウなどがあります。マツムシソウ属は、品種によって多年草や一年草などいろいろあります。

また、草丈も大型で1m近くなるものから小型で10cm程度のものまであります。

園芸店などで見かけるのは、一年草のセイヨウマツムシソウと呼ばれるものや、多年草のコーカサスマツムシソウなどの外国原産のものもありますが、どれもマツムシソウ(スカビオサ)と書いて販売されていることがあります。

花期が長く、品種によって春から咲くもの、秋から咲くものがあります。

しかし、高温多湿に弱く夏越しが難しいので、春に購入して植えても花を見たら夏に枯れたということしばしばあります。もともと冷涼なところで育つ性質です。風通しが良い場所を好みます。乾燥には強く、日当たりの良いところが好きなのですが、夏場は涼しい場所で育てるようにします。水はけのよい土を好みますので、水やりは土の表面が乾いたらたっぷりと与えるようにして育てます。



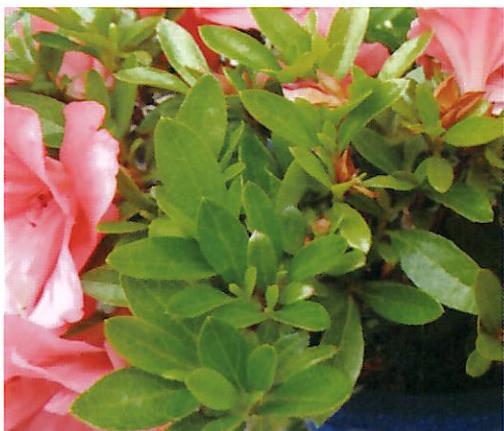


樹木医相談コーナー

夏になると、サツキの葉が白っぽくなる

毎年、5月になるとサツキの花が美しく咲きます。

サツキの葉は、光沢のある緑色で、小さな毛がたくさんあるのが特徴ですが、夏になると、葉がかすり状に白っぽくなっているのを見かけることがあります。



光沢のある綺麗な葉



かすり状に白っぽくなった葉

これは、ツツジグンバイが、夜中に飛来して、葉の裏面に付着し、樹液を吸汁することによって、葉の色が白っぽくなってしまいます。

ツツジグンバイが飛来しているかどうか確認するには、サツキの葉の裏面を観察します。葉の裏面にゴマの種子のような黒い粒がポツポツ付着していたら、ツツジグンバイの排泄物です。

また、サツキの樹冠全体を手でガサガサすると、小さな虫が数匹飛び出してきましたら、それがツツジグンバイです。

この虫の名前は、成虫の翅の形が、軍配に似ていることから由来していると云われています。

葉は、ツツジグンバイによって白っぽくなってしまうと、元の緑色に戻ることがないので、新しく出る葉が吸汁されることのないように、防除する必要があります。

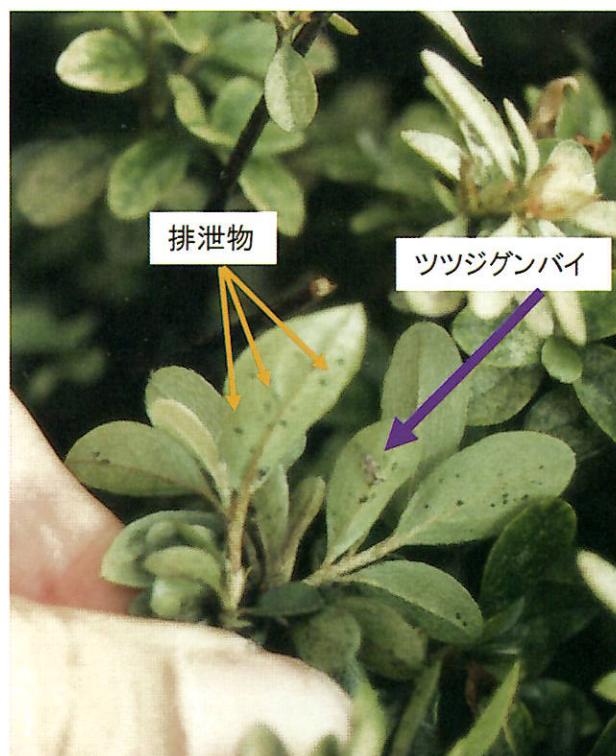
また、ツツジグンバイが最初の4月に飛来、発生する時期を予想して、予防しておくと綺麗な葉を維持することができます。

ツツジグンバイは、4月中旬から9月末まで、産卵、羽化を繰り返して発生し、サツキの他に、ヒラドツツジやクルメツツジ、キリシマツツジなどの葉に被害を及ぼします。

防除するには、次の方法があります。

モスピラン液剤500倍やオルトラン水和剤1500倍などの殺虫剤の希釀液を葉の裏と表に散布する。オルトラン粒剤をサツキの根元付近に撒いておく。

4月中旬から5月中旬にかけて作業をしておくとよいでしょう。



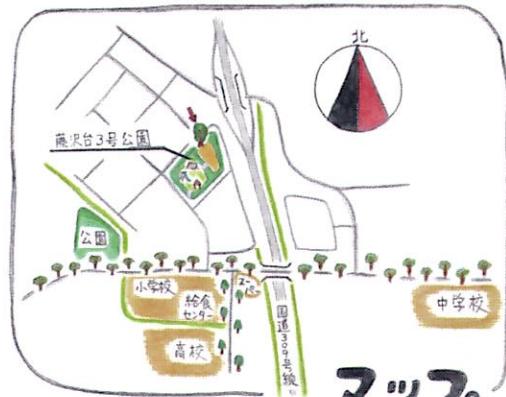
公園の「いっぽな木」を発見

藤沢台3号公園のシラカシ

(富田林市藤沢台六丁目)

全体の面積が2600m²あり、遊具広場と多目的広場の設備のある公園です。

この公園の特徴は、公園外周に植栽されている樹木のほとんどが常緑樹で、そのうち41本はシラカシです。



公園に植栽されているシラカシの中で、大きくて、遠くからでも見える樹木があります。

幹周りが、1.2m、樹高が約7.5mあります。

北西方向から南東方向に延びる道路を歩いて行くと、正面に大きなシラカシの樹木がある公園で突き当たります。



シラカシは、幹の樹肌が白っぽくて、きめ細かく、葉は細長くてやさしい感じのする緑色をしています。

また、たくさんのドングリの実をつけます。

かつては、公園の多目的広場の北東側の外周にクロマツの樹林がありました。枯損により全て伐採され、松林の中に植栽されていた広葉樹だけが、現在も残っています。





my little garden story

春になると、家の前の小さな広場に、クローバー（シロツメグサ）が繁ってきました。

5月にはいって白い花がたくさん咲くようになりました。

四葉の葉が、あるだろうか？

・・・30分くらい探してみましたが・・・
見つけることができませんでした。



クローバーの種子を撒いたり、苗を植え付けたわけでもないのですが、毎年、春になると芽を出し、綺麗な花を咲かせてくれます。

今年、気づいたのですが、クローバーの葉に白い模様のはいった株と、模様の無い株がありました。

同じ白い花を咲かせているのですが、「品種が違うのかな？」と思いました。

最近は、クローバーやタンポポなどの草のほかに、外来の植物のメリケントキンソウが、生えてくるようになりました。



この草は、5月になると、株の中心付近に細くて鋭いトゲのある種子をつけるので、素手で触ると皮膚に刺さるので注意が必要です。

何かに種子が付いて運ばれてきたのでしょうか？
ゴム手袋や皮手袋を付けて、引っ張ると安全です。

来年は、生えてこないでね！



気温の上昇と雨が降るたびに、
草がどんどん成長してきたので、
6月に草刈りをしました。
すっきり。

次は、夏の草の出番です！



草木でオモチャ作り

今回は、蒸し暑い夏の夜を涼しげに演出する『竹灯籠』を作つてみましょう。

用意するもの

- ・竹筒（太さ15cm程度）
- ・のこぎり
- ・電動ドリル
- ・キリ（サイズは自由）
- ・ろうそく（LEDろうそく）
- ・ガスバーナー
- ・下絵用紙
- など



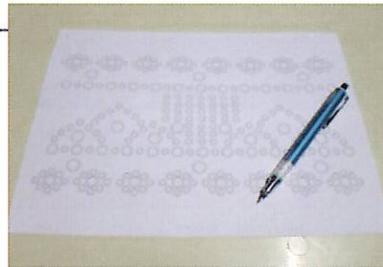
①

竹筒を30~40cm程度の長さで切れます。底面は、自立するよう真っすぐにカットします。竹筒内に節がある場合は、節を割って取り除きます。今回使用した竹は、孟宗竹を使用しました。



②

下絵用紙に竹灯籠の模様となる絵を描きましょう。下絵はドリルでくり抜くので、細かい模様や絵になると、加工時の細工が難しくなります。



③

下絵を描いた用紙を竹筒に貼りつけます。竹筒の節は堅く穴があけにくいので、節とずらして貼り、竹筒に穴をあけます。穴は、ドリルで大小様々な大きさであけましょう。竹は割れやすいので慎重に作業をして下さい。



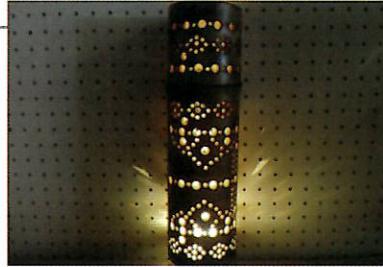
④

竹筒をガスバーナーで焼き入れをして、竹の油分を飛ばします。焼き入れをすることで表面に光沢が出て、美しい仕上がりになります。また、所々わざと焦がすことでお洒落な風合いも出ます。



⑤

竹筒の下に、灯したろうそくを入れたら竹灯籠の完成です。模様からこぼれる優しい光を楽しみましょう。細かい模様にチャレンジや、天端をハス切りにするのも良いですね。



※大人といっしょに作りましょう。

メンテナンスの定期便

一般財団法人富田林市公園緑化協会が管理する富田林市内の公園樹や街路樹の

8月から11月までの定期メンテナンス予定表

公園

作業	月	8	9	10	11	
除草			■		■	広場の草刈りをします
ケムシの駆除		■	■	■		大量発生した箇所を中心に駆除をおこないます
樹木の剪定		■				茂りすぎて支障のでた樹木の枝払いをします



緩衝緑地

作業	月	8	9	10	11	
除草				■	■	宅地沿いや道路沿いの部分を主に草刈りをします

街路樹

作業	月	8	9	10	11	
除草				■		街路樹や歩行者専用道路樹の植栽部分の草刈りをします
ケムシの駆除		■	■	■		大量発生した箇所を中心に駆除をおこないます
樹木の剪定		■				交通に支障のある樹木について、その部分の枝払いをします
落葉樹の落ち葉清掃					■	樹木の大小、交通量に応じて、2週に1回、週に1回の落ち葉清掃をします

樹木のメンテナンスに伴う作業中は、なにかとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を
お願いします。

お知らせ

7月、11月、12月にケアセンター「けあぱる」で園芸教室を開催します。

詳しくは開催月の市広報をご覧ください。また、諸事情により講習会が中止または延期となる場合があります。

- ① 7月28日（金） 「子どもクラフト」
 - ② 11月30日（木） 「季節の寄せ植え」
 - ③ 12月2日（土） 「子どもクラフト」
 - ④ 12月22日（金） 「お正月の寄せ植え」
- ①～④の講座はすべて、午後1時30分から講習開始、定員18人
- 場所 ケアセンター「けあぱる」
クラフトルーム
富田林市向陽台1-4-30



編集後記

毎年、連休前に緑化フェア＆植木市を開催していたのですが、3年間、新型コロナウイルス感染症防止のため中止や延期となり、昨年は11月に2日間の開催でした。

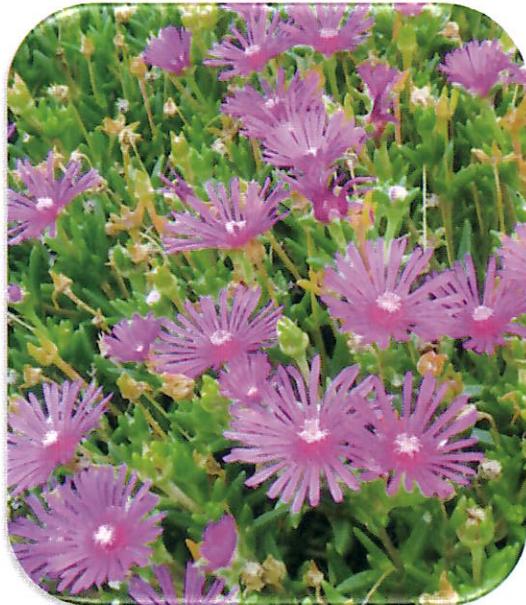
4年目の今年、やっと4月末（28日～30日）に春の緑化フェア＆植木市を開催することができました。

久しぶりの春開催で、色とりどりに咲く花や鮮やかな新緑に華やかに彩られた会場の光景を見て、日常が戻ってきたなど感じました。

今回は、スタッフ手作りのオナモミの種のダーツや、新たにガチャガチャマシーンも手作りし、たくさんの子供さんたちにゲームを楽しんでもらおうと意気込んでおりました。雨の降る日もありましたが、「楽しい！」と言って毎日来てくれるお子さんもいて、作りがいがあったとスタッフも喜んでいました。

ご来場していただいた皆様、各関係団体及びイベントにご協力してくださった皆様、ありがとうございました。





マツバギク

科名 ツルナ科 (ハマミズナ科)
学名 *Lampranthus spectabilis*
花言葉 「忍耐」「無邪気」「怠惰」

初夏から晩夏にかけて住宅街を歩いていると石垣の間からマツバギクが可憐に咲いているのを見かけます。

マツの葉のような細い葉や菊のような花からマツバギクと名前がついたと言われています。

多肉植物で、地面を這うように生長し、太陽を浴びると輝くように開花し、日が沈むと花を閉じます。

日当たりと水はけのよい場所を好み、耐寒性・耐暑性があるのでロックガーデンやグランドカバーに向いています。



台風に備えましょう

2018年9月の台風21号では、屋根が飛んだり庭木が倒れたりしたお家も多かったようです。強風時では木の葉など風当たりの面積を小さくしておくことで倒木の危険が多少マシになります。台風に備えて庭のボサボサにはったらかしている木は透かし剪定をするなど準備をしましょう。来てからでは遅いのです。備えあれば憂いなし！強風は急にやってきます、風が吹き出す前に片付けましょう。